



芸術学

Study of Contemporary Art Practice and Visual Culture



現代における芸術の
実践と視覚文化の研究により、
芸術の意義を探求し社会に貢献する。

美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、作品制作やキュレーションの実践を伴う現代美術研究を通して、芸術が今日の社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成します。

1年次

芸術学専攻で行う調査や制作などの概要を理解し、視覚文化研究・現代美術研究に必要なスタディスキル及び制作表現の基礎力を身につけます。

芸術学演習(一)「基礎」
ユネスコ創造都市(クラフト&フォークアート分野)に認定されている金沢には、江戸時代以来の様々な文化が今も息づいています。金沢の文化に関するフィールドワークを行い、これをケーススタディとして芸術学概論を講義した後、視覚文化研究・現代美術研究の導入としての基礎的な演習を、各教員がオムニバス形式で行います。

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|--------|
| 芸術学演習(一) | 日本美術史I・II | 東洋美術史I・II | 西洋美術史I |
| | 彫刻演習 | 工芸演習 | デザイン |
| | 映像メディア | | |



工房見学(毎田染画工芸)



演習(一) グループワーク

2年次

視覚文化研究・現代美術研究のスタディスキルの展開力、企画実践を含む制作表現力を身につけ、専門研究を具体的にイメージしつつ、その方法を試行します。

芸術学演習(二)「展開」
アーティスト・イン・レジデンス(研修旅行)と連動した作品制作と展示企画、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究の文献の輪読と議論、現代美術のキュレーションにおける実地調査など、1年次の芸術学演習で修得した基礎力の展開として、視覚文化研究・現代美術研究に関する発展的な演習を、各教員がオムニバス形式で行います。

- | | | | |
|----------|---------|---------|--------|
| 芸術学演習(二) | 西洋美術史II | 工芸史I・II | 美学 |
| | 近代美術史 | 絵画演習 | 美術表現演習 |
| | 工芸 | 版画 | |



演習(二)制作「死なないための術」和田夢花(撮影/岡田宇左)



研修冊子表紙

3年次

視覚文化研究・現代美術研究のスタディスキルの専門性、制作表現力を高めるとともに、卒業研究の方向性を定め、その目的と意義を認識します。

芸術学演習(三)「発展」
1・2年次の芸術学演習で修得した基礎力・展開力に基づく専門研究について、各教員がゼミを開講し、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、現代美術における多形式での制作・理論、キュレーションの研究とその実践に関する演習を行います。卒業研究を念頭にゼミを選択し、調査・研究、制作・展示を通して研究テーマを探求します。

- | | | |
|----------------------------------|---------------|--------|
| 芸術学演習(三) | 芸術論研究 | 美術工芸特論 |
| 日本絵画史特講 | 西洋絵画史特講 | 彫刻史特講 |
| 専門語学(英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語、古文) | | |
| 絵画 | コンピュータグラフィックス | |



演習(三)ゼミごとの指導風景例

4年次

視覚文化研究・現代美術研究における専門研究を行い、各自のテーマに基づく論文や作品制作等を完成させ、その成果を発表します。

芸術学演習(四)「集大成」
3年次に行った専門研究を前提に研究領域やテーマを決定し、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、および作品の制作やキュレーションの実践を伴う現代美術研究における卒業研究(論文/制作)を行い、主指導教員の個別指導に基づく調査・研究、制作・展示、発表におけるプレゼンテーションと質疑応答を通して完成に導きます。

- 芸術学演習(四) 卒業研究
- 制作実技領域は12月に学内展示発表を行います。また、2月には全領域が研究を可視化し、卒業制作展での展示を行い、その機会にあわせて金沢21世紀美術館レクチャーホールで口頭での研究発表を行います。(一般公開)



演習(四)卒業研究発表風景

学外研修

研修旅行:アーティスト・イン・レジデンス(大分県別府市)
2年次の美術表現演習と芸術学演習(二)で行う作品制作および学内での展示企画を、学外の施設における滞在制作展示として発表し、報告書を作成することにより、現代美術領域における現場力を養います。

卒業後の進路・活躍

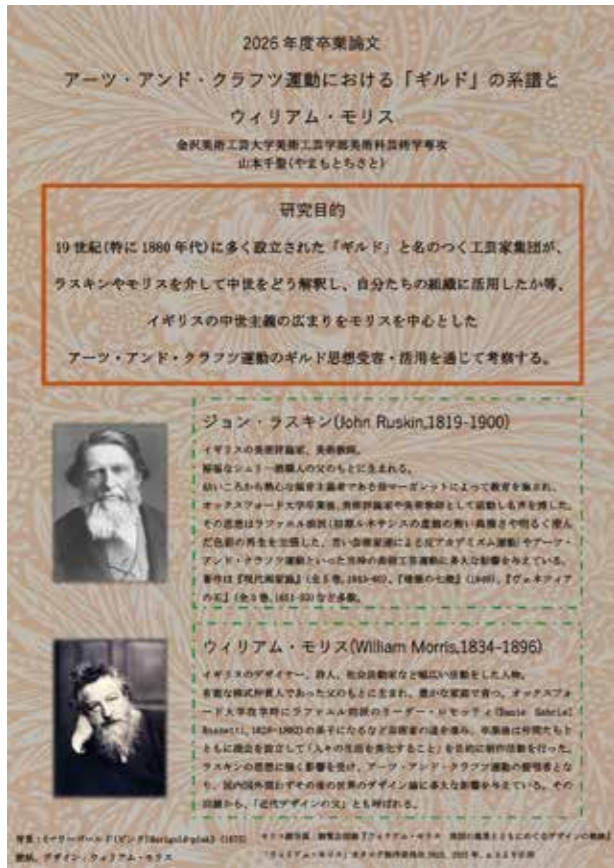
【就職】北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、モエレ沼公園、弘前れんが倉庫美術館、東北福祉大学芦沢銈介美術工芸館、秋田市立千秋美術館、福島県立博物館、茨城県近代美術館、東京国立博物館、東京ステーションギャラリー、草間彌生美術館、横浜美術館、横須賀美術館、ポーラ美術館、黄金崎クリスタルパーク、愛知県陶磁美術館、名古屋市美術館、古川美術館、豊田市美術館、国立工芸館、石川県立美術館、石川県輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、富山県美術館、富山県水墨美術館、富山市ガラス美術館、黒部市美術館、セネ美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢湯涌夢二館、福井県立美術館、金津創作の森美術館、敦賀市立博物館、二条城、大阪中之島美術館、国立国際美術館、伊丹市立美術館、和歌山県立近代美術館、鳥取県立美術館、福岡アジア美術館、立花家史料館、九州国立博物館、東映アニメーション(株)、劇団四季、福井大学、金沢大学、公立および私立中高等学校美術教員など 【他大学進学先】大学院:東北大学、東京大学、筑波大学、千葉大学、神戸大学、九州大学、東京藝術大学、京都市立芸術大学、ロンドン大学など

美学・美術史・工芸論を中心とする
視覚文化研究

絵画や彫刻といった「美術」はもとより、その一部を構成しつつ周縁に位置する「工芸」や「デザイン」、さらには美術の下位に区分されてきたヴィジュアルな「大衆文化」を対象として、学術的かつ領域横断的な研究に取り組みます。

制作やキュレーションの実践を伴う
現代美術研究

絵画、彫刻、工芸、デザイン、版画、映像メディア、CG、美術表現といった幅広い実技を学び、現代の美術市場を意識した作品制作や作家とともに展覧会を作り上げる現代美術のキュレーションなどの実践的な研究に取り組みます。



山本千聖
「アーツ・アンド・クラフツ運動における「ギルド」の系譜とウィリアム・モリス」



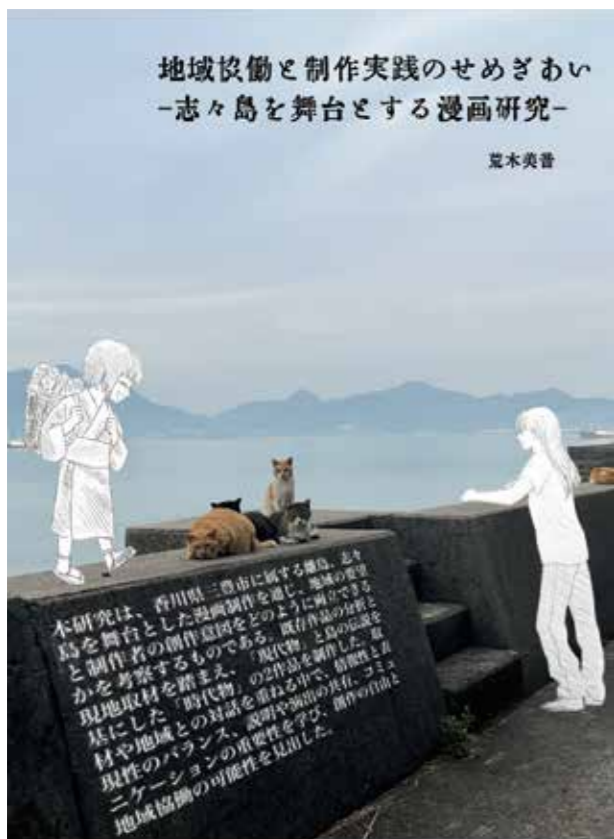
谷口和香奈
「白山をめぐる文化の真正性と三馬場の位相」



山辺彩音
「カサナリ」 アクリル板、水性スプレー(黒)、プライマー、テグス



岡田宇左
「Dream Tarot -Trionfi-」 ジークレープリント、Hanemuhle Photo Rag、額装



荒木美音
「地域協働と政策実践のせめぎあい -志々島を舞台とする漫画研究-」



森岡美遥
「AIとの協働 -AIアートにおける人間と機械の関係性-」



和田夢花
「関守石」 リンゴ、麻紐